

モニタリング カンファレンス の実施

生活リハビリを続けていく中で、
H様についてのカンファレンスを実施



- 自宅復帰を目指すには **家事動作** を追加して「できること」を増やしていった方が良いのではないかと。
- 施設生活が長く、**買い物** に行く際にセルフレジ等の環境変化に対応するための練習が必要。
- これまで **薬の管理** を施設側で行っていたため、**自己管理に移行するための練習が必要**、
など、現場の他職種間で意見が挙がりました。

フロアでの配膳作業、洗濯物
干し・食器洗いをやって頂く。



毎日実施。他のお客様の分も
お手伝いして頂きました。

週に1回、PTの付き添いの
もと、買い物訓練。



地図を見て事前に計画をたて、
歩いて買い物に行きました。

服薬カレンダーの実施。
薬の自己管理をして頂く。



職員は介入せず、確認と服薬
の見守りを行いました。

課題C 遂行機能の強化

在宅復帰に向けた不安要素を一つ一つ解消することができました。

FIMの変化

FIMとは運動と認知の計18項目を7段階で評価、日常生活動作(ADL)の介護量を測定する「機能的自立度評価法」。満点は126点。

2020年
5月14日当時

FIM96点

18点
アップ!

2021年
12月30日現在

生活リハビリを通して
大きく改善することが
できました。

整容	5	⇒	7
イス・移乗	5	⇒	7
更衣	6	⇒	7
移動・歩行	5	⇒	7
階段	5	⇒	6
社会的認知	4	⇒	6 等

FIM 114点

在宅復帰へ!!



2022年1月に連泊のサービスから、
週3通い・週3訪問に切り替えました。

ハートフル ホーム八幡 の強み

- ▲ **職員の高い観察力とお客様へのサポート力**
 - ・声掛けと傾聴によって、お客様の心身のケアを行います。
 - ・日常生活の中で見えてくる特性や細かいリスクに「気づき」、次のケアに活かします。
- ▲ **他職種連携による包括的ケアの実現**
 - ・計画作成、リハビリ専門職、看護師、介護職員の密な連携のもと、共通の目標意識を持ったアプローチを行います。

これらの強みを活かし、今後も「**より快適で
質の高いケアを提供できる**」環境づくり
に努め、お客様の在宅生活を
支えていきます。

